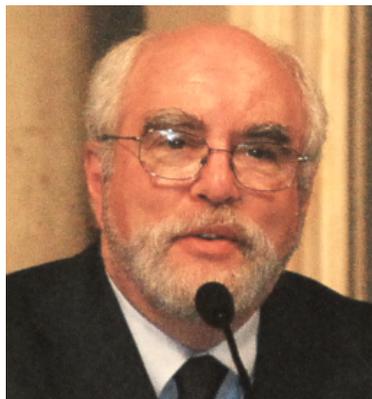




2011年3・1ビキニデー

海外代表と核兵器廃絶を語ろう



アメリカ

ジョゼフ・ガーソン

アメリカフレンズ奉仕委員会 ニューイングランド事務所責任者

1976年以來アメリカフレンズ奉仕委員会 (AFSC) で活動。80年代「核凍結」運動の発足や、ニューイングランド地域港湾の核兵器基地転換の阻止運動に携わる。1995年ユニオン研究所大学にて国際安全保障研究で博士号取得。全米、国際的にも平和反戦連合の創設をすすめ、最近では、2010年 NPT 再検討会議での NY 行動の責任者を務め、アメリカと世界の核兵器廃絶、反戦、米軍基地撤去の運動の先頭に立っている。原水協、被団協と協力して被爆者の声をアメリカ国内で広めるために尽力し、毎年世界大会やビキニデーなどに参加するなど日本でもファンが多い。日米関係、アジア、北朝鮮の核問題にも精通。著書「帝国と核兵器」も好評。



オーストラリア

ティム・ライト

核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) オーストラリア担当理事

2010年 NPT 再検討会議では、核兵器禁止条約への政治的支持を構築するという ICAN のグローバル戦略の実行のためコーディネーターを務めた。再検討会議の前日には、ニューヨークのタイムズ・スクエアで行われた1万人集会で演説し、核軍縮の緊急な必要性を訴えた。また、核兵器廃絶条約を求める最初の世界行動デーを組織し、30カ国で80以上のデモが行われた。

著書に、「平和を学ぶ：核軍縮における学生の役割」、「今こそ変化を：21世紀のオーストラリア」の編集も務める。これまで、オーストラリア民主党の院内総務の政策顧問や米大統領候補のデニス・クシニッチ下院議員のインターンなどに従事。メルボルン大学にて国際関係を専攻し、法律と文学の学位を取得。また、パリ政治学院 (SciencesPo) でも学ぶ。小学校時代に、クラスメートと毎年1000羽鶴を折り、広島に送っていた。軍縮への情熱はこの頃から芽生える。

韓国

キム・スヒョン (金秀炫)

進歩新党政策委員

北朝鮮の延坪島砲撃事件で、北朝鮮との全面戦争も辞さずとの国会決議が提案された時、進歩新党だけが唯一反対の立場を表明した。同政党の平和・軍縮政策立案に携わり、非核・平和の朝鮮半島を実現するために、重要な役割を果たしている。日本語も勉強中。



マーシャル諸島

アバッカ・アンジャイン・マディソン

ロンゲラップ島民代表

ロンゲラップ環礁選出のマーシャル諸島共和国前上院議員。ロンゲラップ島は第五福竜丸と共に死の灰を浴びた島で、アバッカさんは被爆したロンゲラップ島の島民のたたかいを率いてきた故ジェトン・アンジャイン上院議員の娘。父と兄弟にあたるネルソンやジョンの意思を受け継いで、被ばく者の正義と補償のための活動を行っている。そしてマーシャルに核実験の被害を引き継ぐためのロンゲラップ平和ミュージアムの建設にも取り組んでいる。最近では2006年、2010年の世界大会、2005年、2008-10年のビキニデーに参加。



2/27(日)◆国際交流会議 14:30-17:00 静岡市民文化会館・大会議室 2/28(月)◆3・1ビキニデー日本原水協全国集会・全体会 13:00-15:00 静岡市民文化会館大ホール
◆分科会 16:00-19:00 静岡市民文化会館・大会議室／グランシップ会議室 【問い合わせ】原水爆禁止日本協議会 TEL:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033